

## 18) 回転するお膳の工夫

国立岩木療養所

七戸千恵 須藤リエ 千葉喜八郎  
渋谷のぶ 黒沢和子 小山内ノリ  
小笠原郁子 葛西美良栄 我満千恵子

障害度が進み上肢の筋力低下のため、食事行為が非常に負担となった患児に、食事摂取に必要な最小限の行動範囲で食事の楽しさを取りもどさせる事を目的として、お膳を回転させながら食物を自由に選ぶ事のできるお膳を昨年度において報告しました。

### ＜成 果＞

1. 少しの指先の力でお膳が回るので、食事行為の負担が軽減され、クルクル回せる事を楽しみながら食事する事ができる。
2. 自力で食物を選びながら食事ができるため摂取量も多くなり、性格も明るくなった。
3. ねじ1本でお膳とベアリングをしめているため、簡単に取りはずし洗滌及び消毒する事ができる。等です。その反面、次の問題もでてきました。そこで更に工夫改良したものを、ここに報告いたします。

### ＜問 題 点＞

1. お膳の大きさに比べ、ベアリングが小さいため、時によりお膳が傾くことがある。
2. 適当なベアリングの購入がむずかしい。

### ＜作製と使用方法＞

材 料

アルマイト製丸膳 1枚  
ね じ 1本  
化粧合板(厚手)  
ボンド

化粧合板にお膳のふちがかかる様にくり抜きお膳をのせ、その中央から合板のうら側迄ねじを通しお膳が回転できるようにゆるみをもたせてとめます。

同型の丸膳に食事を用意して、回転お膳に重ねて使用します。

### ＜成 果＞

1. 台に埋めこんであるため傾く事はありません。(写真1)
2. ベアリングを使用しないので、簡単に作る事ができます。
3. 強度の変形のある患児の体型に合わせた机にふたをかぶせて、食事以外の日常生活にも使用できます。

### ＜終 り に＞

子供達の成長と共に障害度も進んできます。その中で自力意欲をもてるような生活の自助具の工夫

と改善を、今後も続けていきたいと思ひます。

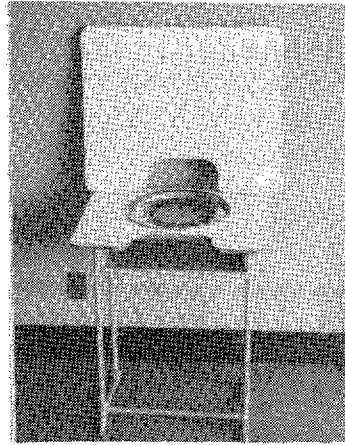
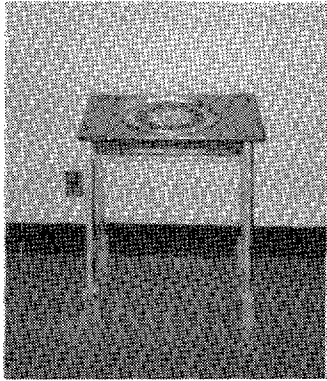


写真1

## 19) 強度の変形あるDMP患児のベッドサイドテーブルの工夫

国立岩木療養所

七戸千恵 倉内トシ 千葉喜八郎  
江利山久子 長谷川悦子 鎌田玲子  
山田静子 長谷川輝子 高柳恵美子

### <研究目的>

障害度が進み、ベッド上で坐位姿勢を保持できない強度の変形のある患児が、余儀なくベッド上の生活をし、快方にむかって車椅子の生活にもどる迄には、筋力並びに心肺機能の低下をみる事が度々あります。

そこでこれ等を予防するために、ベッド上で坐位姿勢を保持できる様なベッドサイドテーブルを作り報告しました。

### <成果として>

1. ベッド上では坐位姿勢はむづかしいが、テーブルの胸の切り込みに、もたれるように体をささえて腰かけることにより坐位姿勢を保つ事ができるので、心肺機能の低下を予防できる。
2. テーブルに上肢をのせる事により、手指の行動範囲が広くなり、筋力低下も予防できる。



↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

障害度が進み上肢の筋力低下のため、食事行為が非常に負担となった患見に、食事摂取に必要な最小限の行動範囲で食事の楽しさを取りもどさせる事を目的として、お膳を回転させながら食物を自由に選ぶ事のできるお膳を昨年度において報告しました。